恵みと真理のニュース



2013 年 4 月の二次 恵みと真理教会 韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / 2582-31-443-3731 / www.gntc.net

[証] 神様の恵みによって今日わたしがあるのです。

ソウルの公立高等学校の教監として在職しながら中学校の教長資格に合格し研修が始まる日、前から知りらった韓国創造学会の会長牧師から "長老、教長になずする私立学校がありますが "という申し入れが入り信けた。牧師を通して提議でしたし、ふだんキリストはした。牧師を通して提議でしたし、ふだんキリスト信仰に基づいた教育を願ったのでその提議に関心からすぐ私立学校に行くのはやさしいことではなかました。 しがし、展いあいた仕事をしてきた公立学校ので教会に行って祈りながら神様の御心を求めました。願い心と不安な心で交差されました。考えてみると私が主を受け入れてから今まで神様の恵みと導きでした。しかし "神の恵みによって今日わたしがあるのです。"この御言葉に共感しながらもすぐ決心がで

そのうちに5月に教内の健康走る大会で一人の学生が心臓麻痺で死亡する事故がありました。その事故でわたしは私立学校に行くことを決心しました。しかし、続けて忙しい仕事でその提議は一時期忘れていました。そうする間、学際の準備する時期に幹部学生が悪い事故を起こして日刊紙に記事化された事件がまたありました。

きませんでした。

この事で教監として行政指導を受けるようになって神様が環境を通してもう一度私の決断を促すことだと考えました。

12月頭にまた、うちの高校3年生の学生たちが 教室で花札で遊びをしている姿が大きく写真で掲載される事件がまたおこりました。続けて事故と事件あってから "神様、私が間違って考えました。誰が言っても神様が予備して導いてくださる道に行きますと祈りました。 翌年、新しい学年が始まる前2月の中旬に辞表を提出しようとしましたが、知り合いの奨学官が

"公立教長を1ヶ月だけでもしてから私立学校に行ったほうが良い。"と言いました。そのお方の関心が感謝して考慮してみますと答える瞬間、心で聖霊様から駄目!と叱る声が聞こえました。短い時間に起こった

三つの事件を通して神様が新しい道を予備し、その道で私を導いてくださると確信ができ迷いなくすぐ辞表を出しました。

神様の恵みに感謝し進められた学校の教長に就任しました。すると何日過ぎて予想できなかったことが起こりました。停年退職を1年半を控えて名誉退職の勧告受けました。とても驚きましたが神様が私をこの学校へ導いてくださったので、ここから離れる事も神様の計画と摂理で成し遂げることだと考えるとすぐ心が平安になりました。

退職後すぐ韓国創造科学学会の事務所で神様に献身するように導いてくださいました。そこでキリストの専門使役に関する知識と経験を習得することができ、これを通して教科書進化論改定推進会の会長の重責を任せられました。

多元の進化論を真理で教える今のわれらの教科書と学 校教育の間違いを正しく変えるため仕事をしました。 また去年ように推進会の活動が私たちの生物科学学会 に大きい反響を呼び起こしました。認定教科書を編纂 する出版者のいくつかのところで"始祖鳥"と一番完 璧な進化過程を見せる動物の "馬" の進化の部分を削 除、修正してくださいと、私たちの願いが受け入れ一 部が他の内容で変え削除され推進議に指摘が間違って なかったことが認められました。たとえ、進化論者達 の強い反発で始祖鳥の削除の願いは受けいられなかっ たですが何十年間変えられなかった科学教科書を前面 改編する学会の声が高くなりました。やさしいことで はなかったですが教職にいる時よりもっとやりがいと 神霊な肯志をもって仕事をすることができました。 神様が私をソウルの公立学校教員から龍仁の私立学校 の教員に行くように導いた理由は主のことをする以外 にもまたある事を体験で悟って神様に感謝しました。 わたしは、ソウルにある教会を通いながら長老もして いました。龍仁に来てから家の近くにある恵みと真理 教会に通いました。普段 (チョヨンモク) 牧師を尊敬 していたので悩みなく恵みと真理の教会に出席しまし た。

実際、恵みと真理の教会を通う前には職分は長老でしたが礼拝時間に居眠りばかりで献身するのが喜びより

たまには負担にもなりました。どころが、今は新しく 恵みを受けって恵みと真理で正しく立って教会と聖徒 のため献身する喜びが溢れるようになりました。 事牧師のメセージを通して恵みと真理で満たされまし た。神様を礼拝し主の事で献身する喜びと感激に日々 新たになりました。礼拝の時間を待ち望み神様の御言 葉に感動を受け週2. 3回礼拝を捧げメセージを聴き ました。平日の礼拝と祈り会に参加することが最優先 になって、地方に出張に行ったり旅行に行く時にはま ず近くにある私たちの聖殿を探して位置を把握してか らそこで礼拝を捧げました。

ある日、ポハン ((浦港)に出張している時水曜日の礼拝に参加するため、テグ聖殿の位置を確認しながら教団新聞でチョ牧師がポハンでリバイバル会を導いてくださる話しを聞いて聖会に参加しました。聖会でたくさん恵みを受けてとても喜び溢れてわれらの教会と牧師が誇りを持つようになりました。それだけでなく今事務室の近くにヨントン聖殿があることがとても神様に感謝しています。

毎日お昼に聖殿に行って20分ぐらい祈る時間が一日の日課で一番楽しくて幸せな時間になっています。今まで祈りを答えてくださった神様に感謝します。これから私がやることを主に依頼し祈りするとどんなことがあってもその過程はまったく心配しません。

なぜならたとえ、私の知恵と能力が足りなくても私 に仕事を任せてくださり導いて下さるからです。 私が立ってた目標のとおり行くのが成功ではなく神様 に従順して忠誠するのが成功であることを御言葉で悟 った後からは私に与えられたことでも楽しくするよう になりました。

教科書の進化論の改訂に関して言論機関でさまざまな 報道をし反対の団体の圧迫が酷かったですが使命を持 って時によって導いてくださる神様だけ見、神様の御 心に最善を尽くしています。

神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された 者たちには万事が益となるように共に働くということ を、わたしたちは知っています。(ローマ 8:28)



[信仰コラム] キリスト中での自我認識(自我認識)

「…説くことが少しであろうと、多くであろうと、わたしが神に祈るのは、ただあなただけでなく、きょう、わたしの言葉を聞いた人もみな、わたしのようになって下さることです。このような鎖は別ですが」(行 26:26~29)

パウロ使徒はどんな過ちもなしにユダヤ人たちの陰謀と奸計で告訴にあって裁判を受けるようになりました. アグリッパ王前でパウロが弁論を始めるとその法廷がむしろ福音伝道の場所になってしまいました. アグリッパ王の "おまえは少し説いただけで、わたしをクリスチャンにしようとしている?"という言葉にパウロが直ちにこんなに言い返しました. "言葉が少ないが多いが王だけではなく今日私の話を聞くすべての人もこんなに結縛されたこと外には私のようになるのを神様に願います." これは使徒パウロの真率な願いの告白で確信にあふれる勧告です.

第一に、 福音を聞いて信じればどうなるかをパウロ使 徒が証言した内容でよく見ます.

パウロ使徒が確信にあふれたものを言った理由は福音を聞いて信じればどうなるかを彼が分かったからです.これは彼に現われたイエスが親しくおっしゃってくださったのです.(行 26:16~18) 福音を聞いて信じる人は "その目を開くようになってオドウムで光に" 進むようになります. 霊が死んだ状態にある人は靈眼が暗

くて神霊なことを分別することができないがイエスキ リストを信じる人は光と視力を得た者になって無知、 混沌, 恐怖のような暗さで完全に脱するようになりま す. イエスキリストを去っては人生がどこから来てど うして住んでどこに行ったかはわからないです. 福音 を聞いて信じる人は "サダンの権勢で神様に帰るよう に"になります. 神様がこの世を建ててこれを治める 権勢をアダムにくださいました. ところで人類の先祖 がサダンの誘惑に陷って罪を犯すので人海世の中を治 める権勢が社団に移ってしまいました. キリストが世 の中へいらっしゃった目的の中一つが社団の権勢を滅 ぼすためなのです. 福音を聞いて信じる人は "罪断り *"*を受けます. 神様だけが人間の罪をことわることが できます. うちの人間の罪をことわるために神様がイ エスキリストを世の中に送りました. 福音を聞いて信 じる人は "神神しくなったあつまりの中で企業を得る ように"になります. 神様のすべての約束はキリスト を信じて罪ことわることを受けて神神しくなった者の 企業です. 永生も、神様の国も、キリストの審判台で 受けるようになる上級も神神しくなった者にくださる 企業です.

二番目で、 私たちが持つことができるしまた必ず持たなければならない自我認識が何やら四種類で分けてよく見ます. 自我認識と言う(のは)自分の実際に対して正しく理解して分別することを言います.

第一, "私は勝利者になった."という自我認識です.

私たちが必ず勝たなければならない対象は罪と魔鬼と 死亡です. ところでキリストが罪と魔鬼と死亡を勝ち ました. 戦争は勝っておいた戦争でこれからは敗残兵 を掃討する作戦を私たちがしているのであり、 これは 私たちの霊的生活に役に立つから神様がお許し願えた のです. 第二, "私は成功者になった."という自我認 識です. 神様を愛して神様の思った通りに呼ぶばれる 者になった聖徒は成功者という通知書をもう受けた人 です. 第三, "私は幸せ者になった."という自我認識 です. "イスラエルよ、あなたはしあわせである。だ れがあなたのように、/主に救われた民があるであろ うか。主はあなたを助ける盾、/あなたの威光のつる ぎ、/あなたの敵はあなたにへつらい服し、/あなた は彼らの高き所を踏み進むであろう. "(申命 記33:29) しました. キリスト中で幸せ者になった聖徒としてこ れからはその幸せをどんなに享受するはずなのかを思 いながら生きて行けば良いです。第四、 "私は富裕な者 になった."という自我認識です. イエスは一生所有財 産がなかったです. しかし万王の王で万主の主です. そして、イエスを信じるすべての者に神様の国を継が れるようにします. 世の中の財貨では加減されない富 裕です. 聖徒は世の中が与えることができないし奪う ことができない富を持った人です.

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム '緑の牧場、清い川'本の語り中」



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

人が神様をすべて分かることはできないが神様 に対して必ず分からなければならないくらは分 かります. 神様が自分を示して下さったからで す、神様が聖書を通じて神様の存在様式と多様 な性分と人間を救われるそして人類の歴史と世 の中の終末に関する計画を啓示なさいました. ところで聖書には理解しにくい用語や句節がた まにあります. "聖霊を消してはいけない"と 言う言葉もその中に一つです. "聖霊を 消し てはいけない"と言う言葉を理解しようとすれ ば聖霊に対する知識と体験がなければなりませ ん、聖霊に対する無知や誤解は信仰の向上と進 歩に大きい障害になって神様がくださる幸せと 恵みを享受するのにひどい差し支えをもたらし ます、だから聖徒の皆さんは聖霊に対する知識 と体験が日増しに加えるようにならなければな りません.

先に、聖霊はとなたさまか対して聖書に 啓示された言葉を通じてよく見ます.

聖書に啓示された神様は三位一体である神様で す、三位神様は一つの意味で協力するから真の 旨で三位は一体です、聖父は創造して聖子は救 贖して聖霊は神神しいようにします. 聖父は創 造主です.しかし聖子と聖霊も創造に同参なさ いました. 聖子は救世主です. しかし 聖父と 聖霊が人類を 救贖 するために聖子を送りまし た.聖霊は信人を聖潔するようになさいます. しかし 聖父 と聖子もこの仕事に一緒になさい ます. 人間を救われるとする聖父の計画が聖子 にとって人間の身を着てキリストという名前で 世の中へいらっしゃるようにしたし、キリスト が成した拘束の恩寵を神様の霊でキリストの霊 である聖霊が信人たちに分けてやります. 人々 に聖父の神様は聖子キリストイエス様を知らせ ました(マタイ 3:17). 聖子キリストは聖父神 様を知らせました(ヨハネ 5:19). 聖子キリス トは聖霊様に対して知らせたし(ヨハネ 14:16) 聖霊は聖子キリスト様に対して知らせます(ヨ ハネ 15:26). 三位一体の教理は聖書に啓示さ れた教理で人間の頭脳に思い出したのではない です. 勿論 "三位一体"という単語は聖書で 捜してみることができません. しかし太陽を太 陽だと呼ぶ前に太陽が厳然に存在したように三 位一体の教理は学問的に名前作りの前に聖書中 に啓示されていました.だから私たちは聖書に 根拠して "聖父,聖子,聖霊三位は神様で主 です."と告白します.初代教会の聖徒たちは "聖霊は神様だ."という事実を明らかに分か っていました。そして聖霊の引導を深く意識し ながら活動しました。エルサレム教会でアナニ アが自分の所有一部を隠してからは全部を神様 に差し上げると言った時、ペテロは彼に"聖霊 をあざむいた"と言いながら"あなたは人にう そついたのではないです神様頃だ"(行 5:4)と とがめました. アンデーオック教会は聖霊によ ってバナバとサウルを宣教師に指名して派遣し ました.

御霊を消してはいけない

"主を仕えて禁食する時に聖霊がいわく私が呼んでさせる仕事のためにバナバとサウルを別に立てなさいなさったらここに禁食しながらるでこ人に按手して遣わした二人が聖霊の送るでこれに按手してですってで、(行 13:2-4)と言いましたでグブロに行って"(行 13:2-4)と言いましたがつり中徒は聖霊がアで言葉を伝えることできないようにしてでで言葉を伝えるデッシンではいましたがに行って"(行 16:6)と言いましたがに行って"(行 16:6)と言いましたがいたいようにしているの中で働いていらっしました。

次は、聖霊が聖徒のためになさる仕事に関して聖書に啓示された言葉を通じてよく見ます.

第一、聖霊はイエスキリストを信じる人等が神 様の息子になったことを確信するようになさっ て神様を父と呼ぶようになさいます.

"聖霊が親しく我が霊に連れて私たちが神様の子であることを証しするのである"(ローム書8:16) しました。

第二, 聖霊は聖徒たちに神様の臨在を感じながら暮すようになさいます. キリストが約束するのを"私が父にお願いしよう そすれば父ていの助けぬし保惠師をあなたたちにはけてるようにするもしないのでもあなたがたと一緒にいるようにする見ようともせず知ろうともしないのでそれを受ける事ができないあなたがたはそれを知りまたあなだがたのうちにいるからである"(ヨハネ14:16,17)しました.

第三, 聖霊は聖徒たちに神様の言葉の意味が分かるように教えます.神様の善良で喜んで完全なみ旨を分るようになさいます.

第四、聖霊は聖徒たちが正し決定と選択をするように導きます.夢や幻想や音声でも導くがだいたいでは聖書の言葉で判断するようにおっしゃいます.心の平安と確信や現実の状況に門が閉まるとか開かれることを通じて導きます.

五番目、聖霊は聖徒を慰めます. 苦難の中に聖霊がくださる慰めを受ければその慰労として苦難される他の聖徒を慰めるまで進むようになります. 使徒行伝 9章 31節に見ると"こうして 教会はユダヤとガリラヤとサマリア全地方にわたって平安を保ち基礎が固まり主をおそれ聖霊にはげまされて歩み次第に信徒の数を増していったと"言いました.

大番目、聖霊は私たちの弱さを手伝ってくれます。ローマ書で 8章 26 節に "このように空霊もまた同じように弱い私たちを助けてからなぜなら 私たちはどう祈ったらよいか分ならないがみ霊みずから言葉にあらわせなしてもないがみ霊みずから言葉にあられました。聖霊は私たちの折祷を助けて、知性と感情と意志の弱いを助けます。そして神霊な事を分別するように手伝ってくれます。

七番目, 聖霊は知恵の言葉, 知識の言葉, 霊たち分別する, 信仰, 病気の癒やし, 能力行い、予言, 方言, 方言通訳, 仕え, 教え, 権威, 救済, 治め, あわれみ、ほどこしの恩師をくださって教会を仕えるようになさいます.

八番目, 聖霊は愛, 喜楽, 和平, 長くしのぶ, 慈悲, 良善, 忠誠, やわらか, 節制の神霊な実を結ぶようにしてくださって聖徒らしい生の姿を取りそろいえるようになさいます.

最後に、聖霊がなさる仕事を比喩と象徴に啓示したものなどを調べます. 聖書には聖霊に対して象徴的言語を使って聖霊の仕事を描きました. 第一、水で比喩しました. 水が肉体の生命維持に必須なことのように聖霊は人の霊味と喜びに対する渇望が解消されます. 水が私たちの身と生活を貞潔にさせるように聖霊は私たちの心と考えを貞潔にさせます.

第二、火に比喩しました.

キリストが天にのぼりになさった後弟子たちは エルサレムのある家に集まって聖霊降臨を待ち ながら一心で祈祷に専念しました。十日間にな る日忽然と彼らの座った家に急で強い風みたい な音が聞こえて火の舌のように割れるのが私ど もに見えて各人の上に臨んでいたら私どもがす べて聖霊の充満することを受けて聖霊が言わせ ることによって他の方言で言うのを始めました (行 2:1-4). 火が燃える事をするように聖霊で 充満すれば不義して不正な考えが消滅して善良 で正義のあって真実の心を持つようになります. 火が明るい光を供給するように聖霊が私たち心 霊に光を照らしてくださって永生と天国の秘密 が分かるようになさいます. 火がエネルギーを 供給するように聖霊充満すれば私たちの心霊の 中に神様に対する愛と福音伝播と奉仕に対する 熱心の炎が燃えるようになります. そして権能 が現われるようになります.

第三, 風で比喩しました.

風が地球上どの所にでも存在するように聖霊もどこでもいらっしゃいます. 聖霊は審判の合えて聖霊なるなります. 聖霊充満すればいつもその心霊状態がさわやかで新鮮になります. 聖霊は絶対意志として自分の旨のどおり運行します. 私たちは聖霊の運行する方向を従って進まなければなりません. 聖霊がなさる仕事を現わした象徴は以外にも はと、雨、油、印、保証などがあります.

聖霊がなさることを分かってみれば "聖霊を 消してはいけない"と言う言葉を理解しにくく ないです. "聖霊を消してはいけない"と言う 言葉は聖霊がなさる仕事にさからってはいけな いと言う意味です. 聖霊の現われることと能力 に対して拒否するなと言う意味です.積極的に 聖霊様の教え、導き、慰め、助けることをし たって求めなければなりません、神霊な恩師と 実をしたって求めなければなりません. 聖霊の 感動と感化と指示を注意深く察して従順しなけ ればなりません、すべてに聖霊様を認めなけれ ばなりません. 瀋言で 3章 6節に "あなたは すべてに彼を認めなさいそんなにすればあなた の道を指導しよう"しました。すべてに聖霊 様を意識して行動して、聖霊様に助けを求めな がらたよるのが聖霊様を認める適切な態度です. 聖徒たちの生において聖霊を消滅するようにす ることは損失の中に最大の損失で悲劇の中に最 大の悲劇です.

聖徒の皆さんは聖霊で常に充満して聖霊の現われることと能力のなかで生活するように願いします.